

名古屋例会開催のお知らせ

2019年第2回名古屋例会を、下記のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

日 時 2019年9月22日(日) 午前10時～午後5時
場 所 三重県環境学習情報センター 1階研修室(四日市市市桜町3684-11) 東名阪「四日市IC」から車で約15分。駐車場(無料)あり。

当日の内容

- 1 情報交換, 同定など(午前10時～12時)
- 2 講演(午後1時～3時30分)
 - (1) 土岐和多瑠:「ニホンホホビロコメツキモドキと酵母の共生関係」
 - (2) 生川 展行:「県別甲虫目録から分かってきたこと」
- 3 一人1話など(午後3時30分～5時)
- 4 その他

(1) 車で来られない方は、近鉄湯ノ山線「大羽根園駅」から、車での乗り合わせの手配をしますので、下記までご連絡ください。

世話人(生川展行 tritoma@mecha.ne.jp Tel. 059-374-1054)

- (2) 大会終了後は、懇親会も開催します。
- (3) 昼食や飲物は必ず持参してください。



東京例会開催のお知らせ

2019年第2回例会を下記の通り開催いたします。奮ってご参加ください。

日時: 9月21日(土曜日) 10:00～16:30
場所: 国立科学博物館附属自然教育園講義室(通用門に入って左手の建物)
[交通] JR山手線「目黒」駅東口より目黒通り徒歩7分
または、東京メトロ南北線/都営三田線「白金台」駅出口1より目黒通り徒歩4分

当日の企画

1. 談話会
午前10時から午後1時までは、自由な歓談の時間(ミニ同定会, 蘇虫会など)として会場を開放いたします。ぜひ、お気軽にご参加ください。



2. 話題提供: 午後1時～

1 題目 上村佳孝(慶應義塾大学・生物学教室)「昆虫の交尾器形態はなぜ多様化するのか?」要旨: 交尾をおこなう動物では、交尾器の形の進化は速い。したがって、特に種数の多い昆虫類—とりわけ甲虫類—では、交尾器の観察は同定・記載に欠かせない作業である。「体より長い交尾器」, 「メスを傷つけるオス交尾器」, そして、「メスのペニス」など、演者がこれまで関わってきた研究事例を紹介しながら、交尾器形態が

多様化する原因を考えてみたい。

2 題目 樽宗一郎 (東京農業大学院生) 「琉球列島産オノヒゲアリヅカムシ属 (コウチュウ目: ハネカクシ科) の種多様性」 要旨: オノヒゲアリヅカムシ属はハネカクシ科アリヅカムシ亜科に属し, 日本から 34 種が知られている。そのうち琉球列島からの記録は西表島における 1 種のみであるが, 同島以外からも本属の分布が確認されている。本講演では, 各島に分布する本属の種について, オスの触角と交尾器の形態を観察した結果を紹介する。

3. 一人一話

以上お問い合わせ先 (東京例会担当): 〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館動物研究部
野村周平 (E-mail: nomura@kahaku.go.jp)

日本甲虫学会第10回 (2019年度) 大会 (予定) のお知らせ

令和元年の記念すべき本会の大会を下記の日程で福岡市にて開催します。参加申し込み等の詳細につきましては本誌次号で紹介いたします。ふるってご参加ください。

【大会日程】

2019年11月30日 (土), 12月1日 (日)

* 日本昆虫分類学会, 日本鱗翅学会九州支部, 九州・沖縄昆虫研究会
(旧日本昆虫学会九州支部) との合同大会として開催

【会場】

九州大学伊都キャンパス・イーストゾーン (大会, 公開シンポジウム, 懇親会とも)
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>

【スケジュール概要】

11月30日 (土)

午前 評議員会, 各種委員会

午後 総会, 公開シンポジウム, 一般公演 (口頭①/ポスター発表①), 懇親会

12月1日 (日)

午前 同定会, 一般公演 (ポスター発表②)

午後 一般公演 (口頭発表②), 小集会

【公開シンポジウムテーマ】

「環境保全に果たす昆虫学の役割 (仮題)」

* アマチュア, 研究者, アセス業界, 行政など様々なステークホルダーからの話題提供を予定

【大会事務】

大会会長 荒谷邦雄 (九州大学大学院比較社会文化研究院)

事務局長 細谷忠嗣 (九州大学持続可能な社会のための決断科学センター)

【問い合わせ先】

細谷忠嗣 E-mail: tadatsugu.hosoya.848@m.kyushu-u.ac.jp

(文責: 荒谷邦雄)